

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.4 1

開催地：八代市太田郷校区

平成 19 年 10 月 24 日（水）、八代市太田郷校区（会場：東中洲児童公園集会所）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 40 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

市内	36 名
市外	4 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・基本方針では、具体的な洪水調節施設の説明はできないと聞いているが、堤防強化、引き提、嵩上げ、河床掘削など具体的な治水対策は社会的・環境的な配慮のため技術的に不可能であり、残る具体的な洪水調節施設であるダムだけには触れられないという不思議な報告会である。この報告会は、ダムが無いと八代は危ないという国土交通省の主張を継続するものという感想を持たざるを得ない。
- ・小委員会の中で、S40 年 7 月の洪水は流量としては最大で、約 1 万 4 千戸が被害を受け、萩原堤防も決壊をしたと説明しているが、このうち川辺川・球磨川の洪水調節施設で救える被害はどれくらいか。数字で具体的に示して欲しい。
- ・S40 年の豊国旅館の流出は、私的に付け足された石垣の流出であり、堤防の決壊したものではないことが明らかになっている。小委員会に提出された萩原堤防決壊の資料が、豊国旅館の例を指すものならば、さかのぼって具体的な方法で訂正して欲しい。また、その方法を教えて欲しい。
- ・新しい氾濫想定区域をできるだけ多くの人に見てもらいたいといいながら、なぜ、これまでの報告会で、地名も水深もない八代市浸水想定図を提示して説明してきたのか。
- ・資料の P6 に河川環境意識の啓蒙のためにも、ダムがたくさん書いてあるが、砂防ダムはどうなっているのか地図で示して欲しい。

【球磨川の治水対策について】

- ・萩原堤防について、20 ～ 25 年という長い時間をかけて深掘れ対策をした後に堤防の厚みを増す計画ということは、この報告会に参加した住民が活着している間に萩原堤防の強化が間に合わないことを思い知らされただろう。H17 年完成予定の強化堤防はダム計画の障害となるために白紙となった。真に私たちが望む緩やかな勾配で川の前面に張り出し、住民の親水効果を実現する浸透に強い堤防を一日も早く実現して欲しい。
- ・今年の美里町の洪水後に見たが、水が道路を越してえぐれており相当な被害があった。球磨川も大量の水が出たときに（堤防が）えぐれないように工事をしてもらえるのか。
- ・支流の前川に面している町内は、海の関係もあると思うが、高潮時期と洪水が一緒になったときの水量は検討しているのか。
- ・世界的に地球温暖化で海面が上がってきている。例えば 100 年先では 10cm、20cm、あるいは 50cm、1m と海面が高くなった場合の高潮と洪水の関係が危惧されるが、こうしたことも十分検討されているのか。
- ・荒瀬ダムを撤去すると聞いている。荒瀬ダムが洪水調節をしていると思うが、その辺のところをどのように検討しているのか。
- ・フロンティア堤防は、全国で前例がないというような発言があったが、全国 4 河川 11 箇所ですべて実際に施工されている。
- ・フロンティア堤防というのは、H13 年に萩原堤防で計画され国土交通省が実施するといったものだと思うが、その堤防が完成すれば八代地区は 200 年に 1 度の洪水にも対応できるとのことだったが、これは本当か。

【球磨川の環境について】

- ・ H6 年頃はかなり魚が泳いでおり、仕事帰りの魚釣りを楽しみにしていた。今は魚がない。これを早く回復することは可能なのか。努力はしているのか。また、ヘドロの問題について説明して欲しい。
- ・ 河川敷などにゴミがかなり落ちている。
- ・ 今、全国的に高齢者のスポーツということでターゲットバードゴルフが普及している。国土交通省で常設コースを造ってもらえないか。
- ・ 魚がつかれるように努力するとの説明が国土交通省からあったが、いつ頃実現できるのか。

【その他】

- ・ 国道 3 号線の前川の白鷺橋の下はガードになっているが、朝夕の通勤時は車の通行が多い。まっすぐ行ければいいが、カーブしているので、土地の買収なりして車の通行をスムーズにして欲しい。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

